

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	5-	10	
事業名	防犯事業経費	会計 一般	款 3	項 1	目 5
政策	8 安全と安心を守るために	課名	町民課		
施策	8-2 交通安全・防犯・消費者保護対策の充実	係名	町民活動係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 地域・自治会・児童・生徒・学生等	目的 (対象がどのような状態になっているか)	情報発信等により地域の防犯意識を高め、犯罪等からの被害を未然に防止するため地域安全活動の推進と生活環境の保全、防犯等の維持管理を行うことにより、安全・安心のまちづくりを実現する。
事業内容	防犯啓発事務…いなべ警察、東員交番、員弁地区生活安全協会と連携して、地域への広報・行政メール等の情報提供や啓発活動、自治会への防犯のぼり旗の提供等、防犯対策を推進する。 防犯灯維持管理事務…ランニングコスト削減及び環境負荷軽減を図ることを目的に平成29年度で町内全ての防犯灯をLEDとした。 関係機関と連携し、調査研究を進め、犯罪被害者等支援条例の制定を行う。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	犯罪認知件数	66			件	↓
2							
3							
4							
5							
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B		7,347		7,837	8,742		
財源 内訳	直接事業費 A	6,225		6,715	7,620		
	うち一般財源	6,150		6,620	7,535		
人件費 (千円) B		1,122		1,122	1,122		
内訳	一般職員 (人・千円)	0.17	1122	0.17	1122	0.17	1122
	臨時職員 (人・千円)	0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	防犯灯の維持・管理、不審者情報等の行政メール配信、自治会へ防犯啓発のぼり旗の配布を継続するとともに、犯罪被害者等支援条例を策定し、支援体制を構築する。	③取組の課題	地域住民の防犯意識がさらに高まり、防犯活動が活性化されていくことが必要である。
②R3年度に実施した取り組み	防犯灯の維持・管理及び新設、不審者情報等の行政メール配信、自治会へ防犯啓発のぼり旗の配布を行った。 犯罪被害者条例、同施行規則を制定し、同時に施策集を作成した。	④今後の改善計画	防犯灯の維持・管理、不審者情報等の行政メール配信、自治会へ防犯啓発のぼり旗の配布を継続するとともに、犯罪被害者等支援施策集をもって、支援体制を構築する。